KORG OT-120 ORCHESTRAL TUNER 取扱説明書

このたびは**コルグ・オーケストラル・チューナー OT−120**をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい方法でご使用ください。またお読みになった後も大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の２つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

⚠	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
⃠	⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
●	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

⚠警告 この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

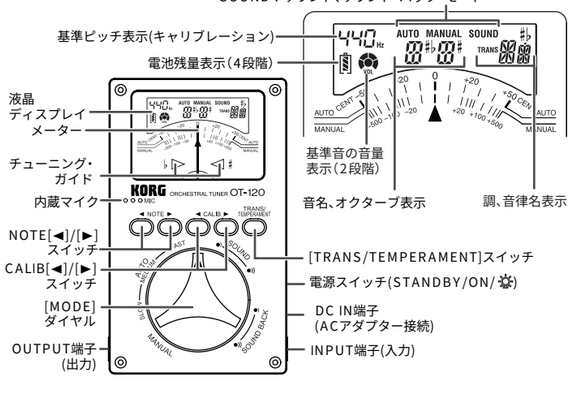
- **ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。**
- **ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。**
  感電やショートの恐れがあります。
- **本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。**
- **次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。**
  ○ ACアダプターが破損したとき ○ 異物が内部に入ったとき ○ 製品に異常や故障が生じたとき
  修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ修理を依頼してください。
- **本製品を分解したり改造したりしない。**
- **修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。**
- **ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものを乗せない。**
  コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- **大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。**
  万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- **本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。**
- **温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。**
- **振動の多い場所で使用や保管はしない。**
- **ホコリの多い場所で使用や保管はしない。**
- **風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。**
- **雨天時の野外などのような湿気の多い場所で、使用や保管はしない。**
- **本製品の上に液体の入ったもの（水や薬品等）を置かない。**
- **本製品に液体をこぼさない。**
- **濡れた手で本製品を使用しない。**

⚠注意 この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります

- **正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。**
- **ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。**
  ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- **外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。**
- **ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。**
- **長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。**
- **電池は幼児の手の届かないところへ保管する。**
- **長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。**
- **他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。**
  本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- **スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。**
  故障の原因になります。
- **外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。**
- **不安定な場所に置かない。**
  本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- **本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。**
  本製品が損傷したり、お客様がけがをする原因となります。

各部の名称

AUTO：オート・メーター・モード（SLOW、MEDIUM、FAST）
MANUAL：マニュアル・メーター・モード
SOUND：サウンド、サウンド・バック・モード



チューニングの方法

OT−120では、**マニュアル・メーター、オート・メーター（SLOW/MEDIUM/FAST）、サウンド、サウンド・バック**の４つのモードがあります。

■ チューニングする前の準備

1. **ピックアップ付きの楽器やコンタクト・マイク等を使用している場合は、OT−120のINPUT端子に楽器またはマイクからのコード（プラグ）を接続します。**
   OT−120のOUTPUT端子をアンプ等に接続している場合は、INPUT端子に入力した音がそのまま出力されます。演奏中はノイズの原因となる可能性もありますので、OT−120の電源スイッチをSTANDBYにしてください。
   OT−120の内蔵マイクを使う場合は、INPUT端子とOUTPUT端子にプラグを接続せずにチューニングします。INPUT端子やOUTPUT端子にプラグが接続されているときは、内蔵マイクは使用できません。

INPUT、OUTPUTの両端子はモノラル専用です。ステレオ・プラグは使用できません。

2. **電源スイッチをONまたは ☼ にします。**（ ☼ では、ONの状態で表示部にライトが点灯します）
   電源ON時は、前回設定した基準ピッチ（初期設定: A=440Hz）になり、[MODE]ダイヤルで設定されているモードが選ばれます。
3. **基準ピッチを変更（キャリブレーション）するときは、CALIB［◀］または［▶］スイッチを押します。**
   スイッチを押すたびに基準ピッチが切り替わり、液晶ディスプレイに表示されます。
   押したままにすると連続的に切り替わります。

349↔350 ↔ 351 ↔ ····· ↔ 497 ↔ 498 ↔ 499

4. **移調楽器をチューニングするときや、古典音律でチューニングするときは［TRANS/TEMPERAMENT］スイッチを押します。**
   スイッチを押すたびに設定（調、音律）が切り替わり、液晶ディスプレイに表示されます。
   調を設定したときは、液晶ディスプレイの“ **TRANS** ”の文字が点滅します。
   音律を設定したときは、液晶ディスプレイに表示される音律の文字が点滅します。

C（表示せず）→ C♯ → D → E♭ → E → F → F♯ → G → G♯ → A → B♭ → B
↑ ↓
YG ← VT ← KN ← KB ← WM ← MD♯ ← ME♭ ← PG

PG: Pythagorean（ピタゴラス）
MD♯: Mean Tone D♯（ミーン・トーンD♯）
KB: Kirnberger（キルンベルガーIII）
VT: Vallotti（ヴァロッティ）
ME♭: Mean Tone E♭（ミーン・トーンE♭）
WM: Werckmeister（ヴェルクマイスターIII）
KN: Kellner（ケルナー）
YG: Young（ヤング）

古典調律にしたときの基準ピッチは、A（=± 0cent）となります。

■ マニュアル・メーター・モード

音名を指定してチューニングするモードです。

1. **「チューニングする前の準備」の手順１～４を設定します。**
2. **［MODE］ダイヤルをMANUALに合わせます。**
3. **NOTE［◀］または［▶］スイッチを押して、合わせたい音名（C～B）選びます。**
   スイッチを押すたびに音名が半音階ずつ切り替わります。押したままにすると連続的に切り替わります。

C ↔ C♯ ↔ D ↔ E♭ ↔ E ↔ F ↔ F♯ ↔ G ↔ G♯ ↔ A ↔ B♭ ↔ B

   この設定は、モードを変更しても記憶されます。
4. **楽器を単音で鳴らして、メーターの針が0位置（中央）を指し、チューニング・ガイドのランプが両方とも点灯するように楽器をチューニングします。**
   メーターは、入力音との誤差が−50CENT～＋50CENTのときに動作します。

■ オート・メーター・モード

入力音をもとにチューニングするモードです。

1. **「チューニングする前の準備」の手順１～４を設定します。**
2. **［MODE］ダイヤルをAUTO−SLOW、AUTO−MEDIUM、AUTO−FASTのいずれかに合わせます。**
   AUTO−SLOW: メーターの指針が入力音に対してゆっくり反応します。
   AUTO−FAST: メーターの指針が入力音に対して速く反応します。
   AUTO−MEDIUM: AUTO−SLOWとAUTO−FASTの中間の速さで反応します。
3. **楽器を単音で鳴らします。**
   液晶ディスプレイは、入力した音に一番近い音名とオクターブを表示します。
   合わせたい音名が表示されるように、楽器をおおまかにチューニングしてください。
4. **メーターの針が0位置（中央）を指し、チューニング・ガイドのランプが両方とも点灯するようにチューニングします。**
   メーターは、入力音との誤差が−50CENT～＋50CENTの範囲を指示します。

OT−120の内蔵マイクでチューニングするときは、関係ない音がマイクに入らないように、楽器と内蔵マイクをできるだけ近づけてください。

倍音が多い音など音色によっては、まれに測定しにくい場合があります。そのような場合は、音量やオクターブ等のセッティングを変えて測定し直してみてください。

■ サウンド・モード

OT−120が出力する基準音に合わせてチューニングするモードです。

1. **「チューニングする前の準備」の手順１～４を設定します。**
2. **［MODE］ダイヤルをSOUND−● または SOUND−●))) に合わせます。**
   ●) にすると基準音の音量小、●))) にすると基準音の音量大となります。
3. **NOTE［◀］または［▶］スイッチを押して、合わせたい音名を選びます。**
   スイッチを押すたびに基準音がC2～C7の５オクターブ範囲で半音階ずつ切り替わります。
   この設定は、モードを変更しても記憶されます。
4. **OT−120が出力する基準音に合わせて、楽器をチューニングしてください。**

■ サウンド・バック・モード

INPUT端子から入力した音に一番近い基準音を出力し、入力音との誤差をメーターで表示します。基準音とメータの表示でチューニングするモードです。

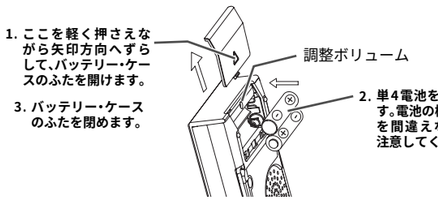
1. **「チューニングする前の準備」の手順１～４を設定します。**
2. **［MODE］ダイヤルをSOUND BACK−● または SOUND BACK−●))) に合わせます。**
   ●) にすると基準音の音量小、●))) にすると基準音の音量大となります。
3. **楽器を単音で鳴らします。**
   入力した音に一番近い基準音を出力し、その音名を液晶ディスプレイに表示します。
   メーターは、基準音と入力音との誤差が−50CENT～＋50CENTの範囲を指示します。
   合わせたい音名の基準音が出力されるように、楽器のピッチをおおまかにチューニングしてください。
4. **基準音とメーターをもとに楽器をチューニングします。**

電池の交換とメモリー機能

電池が消耗してくると、正確なチューニングができなくなります。液晶ディスプレイの電池残量表示を目安にして、お早めに新しい電池と交換してください。
また電池は、電源オフ（STANDBY）時の記憶保持用電源としても使われ、基準ピッチ、TRANS/TEMPERAMENTの設定、マニュアル・メーター・モードまたはサウンド・モードで選んでいた音名を記憶します（メモリー機能）。

電池を本体から抜いたり、電池が消耗したときにメモリー機能の各種設定はリセットされます（ACアダプターが本体とコンセントに接続されている場合はリセットされません）。

ACアダプターをご使用になる場合も、電池は入れたままで使用してください。



付属の電池は、動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

誤動作が発生し電源を入れ直しても改善されない場合は、電池を一度外して、再度入れ直してください。

メーター針のゼロ・ポイント調整

運搬時等に何らかの衝撃を受けたり、長い間使用していると経年変化によってメーターの針が0位置（中央）からずれてしまうことがあります。正確なチューニングができるように、メーターの針を０位置に合わせ直してください。

1. **NOTE［◀］スイッチを押しながら、電源スイッチをONにし、メーターの針が0位置を指しているかを確認します。**
2. **0位置を指さない場合は、「電池の交換とメモリー機能」の図を参照して、バッテリー・ケースのふたを開け、調整ボリュームを小さなプラス（＋）・ドライバ（精密ドライバ）等で回して、0位置を指すように調整します。**
3. **調整後（または手順１でメーターの針が０位置を指していた場合）、いずれかのスイッチを押して通常の動作に戻し、ふたを閉めます。**

本製品には精密機器である針式メーターを使用しています。そのため震動や落下など強い衝撃を加えますと、ゼロ・ポイント調整ができなかったり、動かなくなる場合があります。取り扱いには十分注意お願いします。

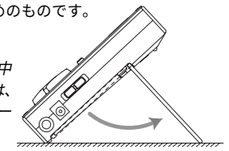
仕 様

音律	：12平均律、ピタゴラス、ミーン・トーンE♭/D♯、ヴェルクマイスターIII、キルンベルガーIII、ケルナー、ヴァロッティ、ヤング
移調範囲	：C、C♯、D、E♭、E、F、F♯、G、G♯、A、B♭、B
測定範囲	：A0（27.50Hz）～C8（4186Hz）
基準発振音	：C2（65.41Hz）～C7（2093Hz）５オクターブ、音量２段階
チューニング・モード	：マニュアル、オート（SLOW、MEDIUM、FAST）、サウンド、サウンド・バック
キャリブレーション範囲	：A4=349～499Hz（1Hzステップ）
測定精度	：±1CENT
サウンド精度	：±1.5CENT
チューニング・ガイド範囲	：**AUTO（SLOW、MEDIUM、FAST）、SOUND BACK時** −50CENT～−3CENT ：♭ −3CENT～＋3CENT ：♭、♯ ＋3CENT～＋50CENT ：♯ **MANUAL時** −500CENT～−3CENT ：♭ −3CENT～＋3CENT ：♭、♯ ＋3CENT～＋500CENT ：♯
接続端子	：INPUT（モノラル標準）、OUTPUT（モノラル標準）、DC IN（9V）
電源	：単４電池x2本（3V）、またはACアダプター（KA181: ⊕◁◯▷⊖）
電池寿命	：約100時間（アルカリ電池、メーター・モード、A4連続入力時）
外形寸法（WxDxH）	：74x120x36mm
重量	：193g（電池含む）
付属品	：動作確認用アルカリ単４電池x2本
オプション（別売品）	：ACアダプター（KA181: ⊕◁◯▷⊖）

※ *仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。*

スタンドの使い方

本体裏側のスタンドは、チューナーを傾けて使うためのものです。
図のようにスタンドをセットしてお使いください。



本体を傾けたときに、メーターの針が0の位置（中央）からずれることがあります。そのようなときは、傾けた状態で針が０の位置を指すように「メーター針のゼロ・ポイント調整」を行ってください。

保証規定（必ずお読みください）

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はお買い上げ日より１ケ年です。
2. 次の修理等は保証期間内であっても有料修理となります。
   ・消耗部品（電池など）の交換。
   ・お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
   ・天災（火災、浸水等）によって生じた故障。
   ・故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
   ・不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
   ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
   ・本保証書の提示がない場合。
   尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ケ月以内に限り無償修理いたします。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくはサービス・センターまでお問い合わせください。
5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなることもありますので、あらかじめサービス・センターへご相談ください。発送にかかる往復の費用はお客様の負担とさせていただきます。
6. 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合にもいっさい行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損傷につきましては、弊社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
本保証書は、保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■お願い

1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

コルグチューナー OT−120　保証書

本書は上記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買上げ日　　年　　月　　日

販売店名

アフターサービス

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

お客様相談窓口　TEL 03(3799)9086

● サービス・センター：〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1
明正大井５号営業所コルグ物流センター内　TEL 03（3799）9085